

発行日	令和6年3月29日
発行元	災害対策課
所属長	森本 仁信
電話	06-6489-6165

防災対策情報便



令和6年3月号

1 避難について考えよう

「**避難**」とは、「**難**」を「**避**」けることです。

安全な場所にいる人は、津波等一時避難場所などに行く必要はありません。

「自分のいのちは自分で守る」という意識のもと、皆さん一人ひとりが適切なタイミングで、安全な場所に避難してください。

▼ 在宅避難

災害が起きたときに、自宅で身の安全が確保され引き続き住める場合には、自宅で避難生活を送ることで。

- ・堅牢なマンション等の上層階(3階以上)などの安全な場所
- ・十分な水、食料、生活用品などの備えがある
- ・停電や断水などに耐えることができる



▼ 親せきや知人宅へ避難(お知り合い避難)

安全な場所に住んでいる親せきや知人がいる場合は、一時的に身を寄せることも一つの避難の方法です。

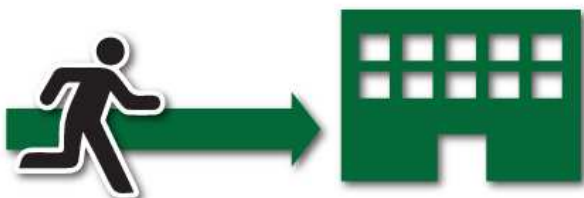
▼ ホテルや旅館への避難

台風などが通過する期間、安全な場所にあるホテルや旅館などの宿泊施設へ避難する。

避難の考え方

避難行動には、▷海や河川からより遠くへ移動する“**水平避難**”▷津波等一時避難場所や近隣の安全な場所へ移動する“**垂直避難**”▷自宅等の今いる建物内の2階以上等といった、より安全な部屋へ移動する“**屋内安全確保**”の3種類があります。“水平避難”がかえって命に危険を及ぼしかねないと自ら判断する場合は、“垂直避難”や“屋内安全確保”をとります。

水平避難



垂直避難・
屋内安全確保



避難場所の種類と役割

災害の種類や状況によって、避難する場所が異なります。避難場所の違いを理解し、最寄りの指定避難場所や津波等一時避難場所を確認しておきましょう。

津波等一時避難場所  津波や洪水が発生した場合や発生のおそれがある場合、一時的に避難できる場所です。避難情報が発令された際に避難可能です	指定避難場所  災害により住まいを失った場合や、災害発生後に災害の危険性がなくなるまで避難する場所です
大火災避難場所  地震や地震に伴う大規模な火災時に避難する場所です	福祉避難所  災害時に特別な支援を必要とする方を受け入れる場所です

▼避難すべき場所は状況によって異なります

一言で、「避難場所」といっても、いくつかの種類 of 避難場所があります。

よくある間違いとして、「津波や洪水から逃げるためには学校の体育館に逃げればよい。」と思う方がいらっしゃいます。

ですが、仮に学校の体育館が1階にあれば浸水の危険性がありますので、その場合は**学校内でも3階以上の高さがある場所に避難**してください。

2 マイ避難カードの周知実績について

そもそもマイ避難カードとは？

「マイ避難カード」とは、一人ひとりができる風水害への備えとして、

- ・「いつ」(避難のタイミング)
- ・「どこへ」(避難先)
- ・「どのように」(避難する方法) などを事前に考えておき、カードにまとめたものです。

風水害などの災害の危険が差し迫った状況の中で、「いつ」、「どこに」、「どのように」避難するかを判断することは容易ではありません。

平時からハザードマップ等を確認し、自分自身の避難行動をあらかじめ確認し、書き記しておくことで、いざという時に速やかな避難行動に役立てることができます。



マイ避難カード作成支援動画



【ハザードマップの種類】

- ①洪水(武庫川/猪名川・藻川)
- ②内水、津波
- ③高潮(堤防等が破堤する場合/しない場合)



各種ハザードマップ (HP)

マイ避難カード		～記入例～	
災害の種類	洪水 武庫川	名前	近松 はな
確認！	判断材料の入手（自宅付近の何が危険？大雨や台風のときに何を確認する？） ・尼崎市防災ネット ・テレビ（dボタンで確認） ・尼崎市ホームページ ・気象台の発表 ・災害情報電話サービス		
逃げる！	逃げる時（何がどうなったら逃げる？） ・警戒レベル3「高齢者等避難」が発令されたとき ・警戒レベル4「全員避難」が発令されたとき		
避難先！	避難先（どこに？どのルートで？） 昼（明るいとき） ・〇〇マンション □□通り沿いを通る 夜（暗いとき） ・〇〇小学校 □□橋沿いを通る		
避難方法！	避難する方法（誰と？歩いて？車で？） 昼（明るいとき） ・家族で歩いて〇〇小学校に避難（徒歩〇〇分くらい） 夜（暗いとき） ・家族全員で自宅のマンションで在宅避難		
メモ	・自宅が浸水想定（1～3m） [持ち物] ・飲料水 ・保存食 ・懐中電灯 ・ラジオ ・ヘルメット ・雨具・防寒具 ・下着など衣類 ・救急セット ・常備薬 ・現金など貴重品 ・ナイフ、缶切りなど ・予備の乾電池、充電器 ・粉ミルク・紙おむつ ・おとなりの〇〇さんに声かけ		

マイ避難カードの周知実績

令和4年度実績

啓発実施回数 80回

周知対象者数 4,274人

令和5年度実績(3月17日時点)

啓発実施回数 146回

周知対象者数 7,927人

令和4年度、5年度の2年間で**226回**、延べ**12,201人**に対して周知啓発を行いました。

また、新たな取り組みとして市立小学校の児童に対するマイ避難カードが作成できるリーフレットの配布や、地域でのイベント、さらには女性センターレピエと協働で啓発活動を実施しました。

来年度も引き続き、ひとりでも多くの方にマイ避難カードを作成していただき、**災害時に適切に避難行動が取れるように**啓発しています。

ひょうご防災ネットでも「マイ避難カード」が作成できます！！

ひょうご防災ネット
スマートフォンアプリ版！

【ひょうご防災ネット】は兵庫県および兵庫県内の市・町から「避難に関する情報」などの緊急情報や、地震、津波、気象警報などの防災に関する様々な情報を利用者の方々に提供するサービスです。いつ発生するかわからない災害に備え、ぜひダウンロードしてください！！

主な機能

- 避難に関する情報や各種気象情報などをプッシュ通知！
- いざという時に備え「マイ避難カード」を作成
- 「巨大地震水位警報情報」(New)
- 避難場所を地図で検索
- 「大雨危険警報情報」(New)
- 12外語圏対応
- 防災情報ポータルサイト
- 音声読み上げ

「自分の命は自分で守る」ためにも、「洪水」「土砂災害」「津波」「高潮」「ため池災害」の災害別の危険性を知り、どのような避難行動をどのタイミングでとればよいのかを考えておくことはとても重要です。

「マイ避難カード」は、ご自身で考えた内容をカードとして保存することができる機能です。

いざという時、逃やかに避難行動ができるように平常時に「マイ避難カード」を作成しましょう！

ただ、災害はいつも同じではありません。マイ避難カードだけでなく、市町からの避難情報や気象情報、河川の水位、周囲の状況などに注意し、はやめはやめに避難行動をとるようにしましょう。

Androidの方はこちら



iPhoneの方はこちら



注目!

3 日頃からの備えを解説します！！

災害対策課では、YouTubeに「いろんな避難を考えよう！」と「家具の安全対策」の動画をアップしています。

「いろんな避難を考えよう！」では、そもそも避難とは何かということやこういった場所が避難場所として適切か、またマイ避難カードの紹介を行っている動画となっています。

「家具の安全対策」では、身の回りに潜む家具の危険性を確認し、道具などで固定する方法ではなく、手軽に今日からできる方法で防災・減災対策を勧めています。



動画はコチラ👉



<https://www.youtube.com/watch?v=-roNoNnWtGk>



<https://www.youtube.com/watch?v=HP5SsGDqkL8&t=34s>

HOT TOPIC!!



<https://www.youtube.com/watch?v=HP5SsGDqkL8&t=34s>

高潮災害... あなたはその恐ろしさを知っていますか？ この動画では高潮発生メカニズムや、実際に高潮が発生した場合、どのように避難するかを分かりやすく解説しています。

ハザードマップ等を用いて日常から考えておきましょう！！